CSRに関する意識調査について

福井県立武生高等学校　宮本京香　谷口心咲　佐久間想來　窪田七菜

【目的】CSR活動における従業員の意識を調査し、
より良いCSRのあり方を考察

【問い】推進者とその他の従業員では
CSRに対する意識にギャップはあるのか

【背景】推進者と従業員の意識の違いに注目した先行研究が少ない

【仮説】推進者の意欲に比べて、**その他の従業員の意欲は低く**、
なぜならCSRの知識が少なく興味関心を持ちにくいから

【方法】

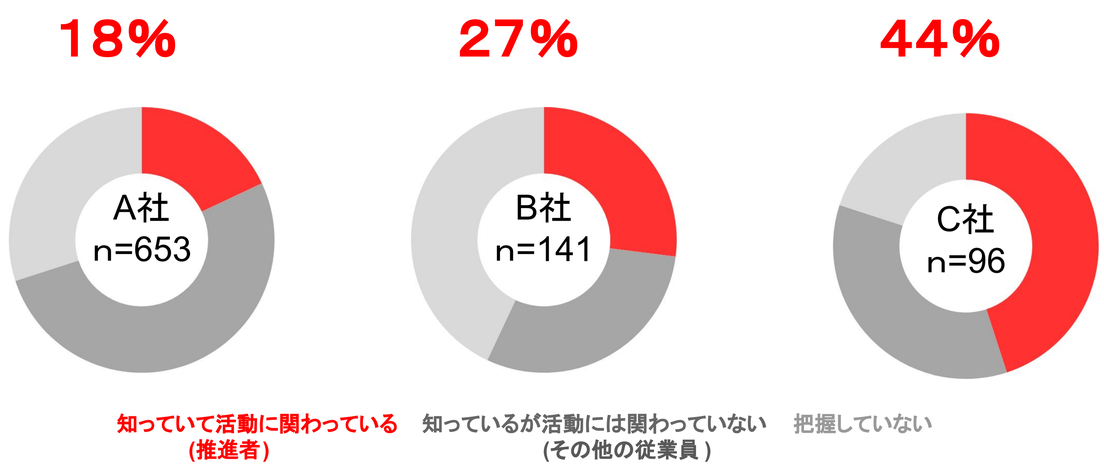
①県内企業にアンケートを実施
CSRに対する
認知度・関与の有無・意識の違い
について調査

※対象：大企業1社(A社)、中小企業2社(B・C社)の製造業

②結果から意識のギャップの有無を調べ、その理由を考察

【結果】

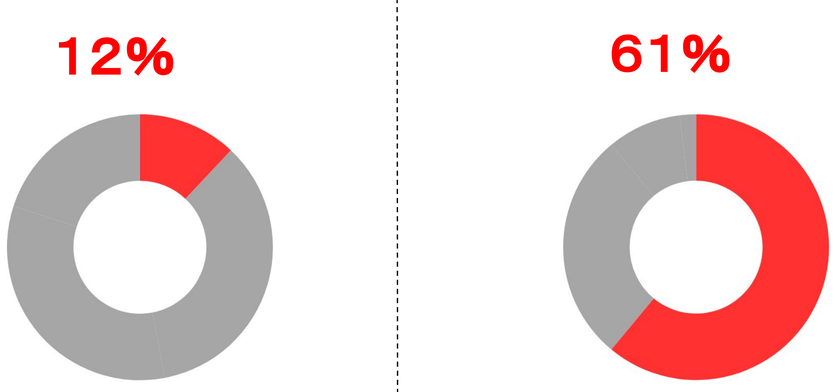
Q. 貴社で行われているCSR活動についてご存知ですか



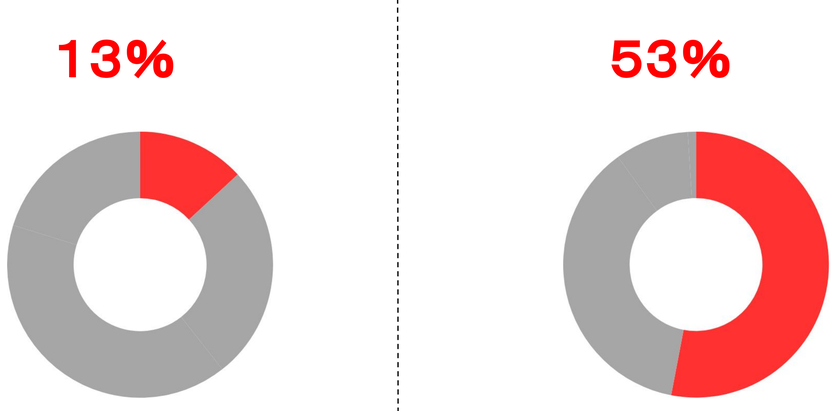
Q. 今後のCSR活動に対する意欲の度合いをお答えください

推進者　　**その他の従業員**

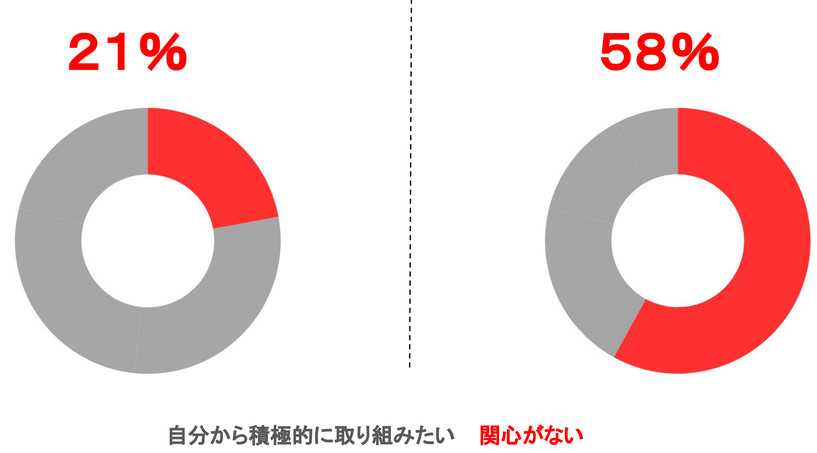
〈A社〉



〈B社〉



〈C社〉



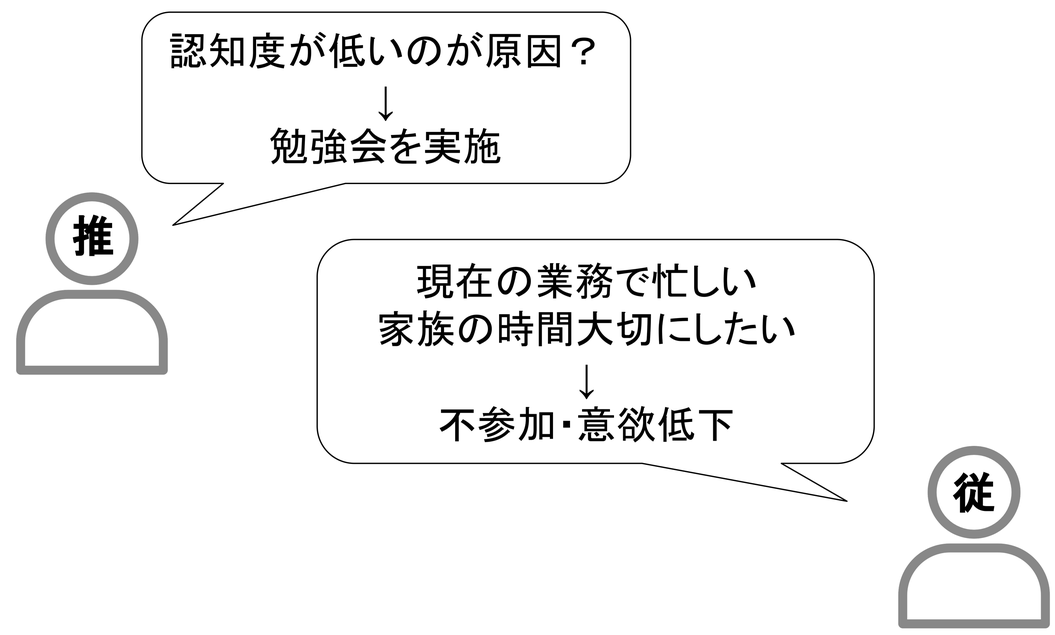
推進者で関心がない人　　･･･ave15%
その他の従業員で関心がない人　･･･ave**59**%

↓

推進者とその他の従業員では
CSRに対する意識にギャップがあった

【考察】

アンケート結果から…



CSR推進策と従業員の本音にギャップ

↓

推進者と従業員の意欲に差

より良いCSRとは…

推進者と従業員が互いに理解し合い、共に実施できる　活動

従業員の意欲を単に引き上げる
だけでは不十分

【結論】

◎推進者と従業員の間に
CSRに対する意識のギャップが存在
◎このギャップを埋めるためには
従業員のニーズに合わせた活動　が必要である

【今後の課題】

推進者に対してインタビューを実施。
実際の活動の中で感じている課題や問題点を詳しく調査し、
企業が取り組める実践的な解決策を提案していきたい。